



英知
誠実
健康

学校だより

若鷹

尾張旭市立旭中学校

令和4年度 6月号

真の勝者とは

校長 浅野 謙一

今年も中学校総合体育大会が、7月2日（土）からの瀬戸・尾張旭地区大会を皮切りに各種目で始まります。一昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大にともない、大会は開催されませんでした。昨年度は、緊急事態宣言が出されるなど開催が危ぶまれましたが、参加人数を制限したり、保護者の方の観戦を自粛したりするなどしてなんとか開催することができました。今年度は、人数制限はありますが、保護者の方の観戦も認められるようになりました。引き続き新型コロナウイルス感染症対策をして、選手や関係者の安全を最優先しなくてはなりません。徐々に新型コロナウイルス感染拡大以前の形に戻りつつあります。この大会は、部活動で頑張ってきた人たちにとっては、今までの練習の成果を発揮する大切な大会です。特に3年生にとっては、この大会が終わると部活動を引退して、次は自分の将来に向けての活動に邁進することになります。

さて、この大切な大会に臨む前に次のことを心にとどめておいてください。スポーツの世界では、常に勝敗が争われ、その結果、勝者と敗者が生まれます。勝者となった人は賞賛され讃えられます。そのことは当然のことであり、勝者となった人は、大いに誇りをもってよいです。なぜなら、勝者となるためには、幾多の挫折を乗り越え、血のにじむような努力をしてきたからです。しかし、その一方で、敗者となった対戦相手がいることを忘れないでください。敗者となった人たちも同じように練習を積み重ね、努力をしてきたはず。ただほんの紙一重の差で勝者にはなれなかったのです。敗者への敬意を忘れずにいられる人こそが真の勝者といえます。また、チームの内には、補欠として試合に出られなかった人や、チームの勝利のために助け、支え、協力し、励ましてくれた人がいたことも忘れないでください。そして、その人たちへの感謝の気持ちを忘れないことも真の勝者には必要なことです。

「勝者を讃えよ、されど、勝者よ奢るなかれ」

旭中学校では、令和5年4月に新制服を導入することを目標に検討を進めています。

5月には、3点の新制服デザイン案から最終の1点を決める生徒・保護者アンケートを実施し、市の花「ひまわり」をイメージしたC案に決定しました。今後は、以前のアンケートで制服を決めるための重要な要素としてあげられた「寒暖の調整」「価格」「手入れのしやすさ」「動きやすさ、着心地」を考慮しながら新制服の最終案を決定していきます。2学期には、新制服をお披露目できる予定です。

修学旅行の思い出



地域・PTA（校外安全部）のあいさつ運動がありました

6月14日（火）に、旭中校区にお住まいの地域の方とPTAの生活安全部員が参加して、あいさつ運動が行われました。生憎の天気ではありましたが、たくさんの方が参加し、明るくあいさつの声をかけてくださいました。子どもたちも、地域の方たちの声に応え、しっかりとあいさつをする姿が見られました。きちんとしたあいさつができることは、旭中生の自慢の一つです。今後も素晴らしいあいさつを続けてほしいと思います。



学校公開、ありがとうございました

6月16日（木）は、学校公開でした。新型コロナウイルス感染症対策のため、2～4限に分散しての授業公開でしたが、どの時間、どの学年もたくさんの保護者の皆様に参観していただくことができました。緊張しながらも、どこかうれしそうに授業に取り組む生徒たちの姿が印象的でした。



今後も、感染症対策をしながら、行事等を行っていくこととなります。ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力よろしくお願いいたします。